

第6章

分野別取り組み

基本方針1

きらりと光る稼げる産業を育てるむらづくり

● 目指す姿

新たな仕事生まれ、それを担う人が育ち、宇検村の良質な特産品やサービスが多くの人に選ばれる元気な村を目指します。

その元気な村に魅力を感じ、村を訪れる人や応援してくれる人などにより深い交流に発展していくことを目指します。



施策体系

施策
01

持続可能な農林業の振興

施策
02

焼内の海で輝く活力ある水産業の振興

施策
03

地域の連携が育む商工業の振興

施策
04

奄美の自然と歴史を伝える観光振興

数値目標

指 標	単 位	現状値 (R3年度)	目標値 (R9年度)
新規就農者数	人	4	5
遊休農地	ha	28.4	23.0
漁獲量	t	4.2	4.5
ふるさと納税の寄付額	千円	15,489	100,000
デジタル関連企業誘致(創出)数	社	0	1
観光入込客数	人	53,000	60,000
合宿受入団体数	団体	1	10
観光ガイド数	人	4	8



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現状

- 平成24年以降の農業従事者数は、減少傾向となっており令和2年度で62経営体となっています。
- 農業従事者のうち60歳以上が6割を占めています。
- 平成24年から令和2年の経営耕地面積をみると、年度で増減があるものの現状維持されています。
- 直売所「うけん市場」の整備を行いました。
- 堆肥センターの大型機械導入により、出荷トン数が増加しています。
- たんかんやパッションフルーツの栽培面積・生産量が増加しています。
- 農林水産省は、令和3年5月12日に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する新たな政策方針として、「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに農林水産業のCO₂ゼロエミッション化の実現、化学農薬や化学肥料の使用量の低減、有機農業の取り組み面積の拡大などの実現を目指すこととされました。

課題

- 結の館の作業用機器の老朽化による機器、機材の更新が必要となっています。
- 農林水産業を将来にわたって維持・発展させていくため、新規就業者の確保・育成が求められます。
- かぼちゃを始めとした野菜の経営栽培農家・栽培面積が減少傾向にあります。

● 基本方針

豊富な地域資源を生かすとともに、安全安心な農作物の栽培、スマート農業の導入などによる生産性の向上を図ります。地域農業の発展を目指し、未来の担い手が魅力をもてるゆとりある農業・畜産業経営の支援強化を行います。

● 主要施策

01 安全・安心な農産物の生産

内容

- 試験圃場の活用により地域特性を生かした有機農業技術の普及を図り、環境と調和した農業を推進します。
- 畜産と耕種の連携を強化し、良質なたい肥の流通・利用を促進します。
- 学校給食、福祉施設への利用促進など地産地消の仕組みづくりを進めます。

主な事業・取組

- 有機農業技術の普及や土づくりの推進
- 地産地消の推進
- 「みどりの食料システム戦略」交付金事業
- 直売所機能強化事業

02 担い手の確保・育成

内容

- 新規就業者の就業意欲の喚起と定着を図るため、関係機関と連携した技術研修や相談体制の整備、経営安定に向けた支援を積極的に行います。
- 農作業の受託拡大による遊休農地の有効活用を図ります。
- (株)宇検村元気の出る公社の自社農場の運営や、村営農場の稼働を実施することにより、機動力のあるモデル事業を推進します。
- 認定農業者制度の積極的な活用を図り、中核的な農家及び生産組織の育成を強化します。
- 集落ごとの生産組織の育成など、営農組織による協業化・法人化を進めます。

主な事業・取組

- 多面的機能支払交付金事業
- 経営指導や農業技術指導等の強化
- 耕作放棄地解消事業
- 高齢者や女性等の活躍推進事業
- 農業担い手育成事業
- 宇検村農業活性化事業
- 人・農地プラン

03 主要作物の生産振興

内容

- カボチャ等の主要野菜類については、基盤整備地区を中心に、輸送野菜としての生産と出荷体制を確立し、広域産地化や品質のブランド化を図り、良質な品物の安定供給に努めます。
- マンゴー、タンカン、パッションフルーツなどの果樹については、栽培技術の確立等による生産安定を図るとともに、品質の改良等を積極的に推進します。
- サトウキビについては、「宇検村元気の出る公社」による機械化一貫生産体系の推進により、生産性の向上を図るとともに遊休地解消を図ります。
- 畜産については、各種事業の導入により規模拡大を図るとともに、飼料基盤整備や簡易畜舎の整備等を行います。
- 他品目の栽培講習会の開催など、新規作物の導入に意欲のある農業者の取り組みを支援します。

主な事業・取組

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 基幹作物を中心とした取り組みの強化 | <input type="checkbox"/> 広域産地化及び品質のブランド化による生産・出荷体制の確立 |
| <input type="checkbox"/> 栽培技術の確立及び産地拡大の推進 | <input type="checkbox"/> 果樹の特性を活かした加工製品の開発 |
| <input type="checkbox"/> さとうきび産地化推進事業 | <input type="checkbox"/> 畜産生産力・生産体制強化対策事業 |
| <input type="checkbox"/> 農林水産物等輸送コスト支援事業 | |

04 生産基盤の整備

内容

- 農業集落排水施設の計画的な維持管理、機能更新に努めます。
- 治山・林道施設および排水路の維持補修の計画的な実施に努めます。
- 病虫害や有害鳥獣等の被害を未然防止に努めるとともに、防護柵の整備を推進します。
- 台風や大雨による被害の補償など安定した生産基盤づくりに努めます。
- ドローンやICT、AIなどを活用したスマート農業の推進に取り組みます。

主な事業・取組

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 農業集落排水施設の適正維持・管理 | <input type="checkbox"/> 治山・林道の維持補修の徹底 |
| <input type="checkbox"/> 鳥獣被害防止総合対策事業 | <input type="checkbox"/> 病虫害対策の実施 |
| <input type="checkbox"/> 農業施設維持管理事業 | |



05 特産品の開発及び販路拡大

内容

- 地域特性やジビエ、伝説などを活かした希少性と独自性の高い特産品の開発を推進します。
- 活性化センター「結の館」の指定管理者の導入など、施設を有効活用した持続的な生産を推進します。
- 関係機関と連携した特産品の開発から流通まで一貫した体制づくりに努めます。
- 村内で生産された農林水産物のブランド化を推進するとともに、村出身者との連携強化やふるさと納税制度等を活用した販路拡大を図ります。
- 他地域との交流から派生させ、お互いの特産品を販売するなど交流事業と連携した販路の開拓に努めます。
- 多様な媒体によるPRやイベントへの参加など、村内外への情報発信を強化します。

主な事業・取組

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 特産品協会・食生活研究グループ・うけん市
場等の関係団体による特産品開発の支援 | <input type="checkbox"/> うけんブランド確立事業
<input type="checkbox"/> 郷友会における特産品販売 |
| <input type="checkbox"/> 農林水産物輸送コスト支援事業 | <input type="checkbox"/> 宮城県との交流事業 |

06 森林資源の保全

内容

- 世界自然遺産登録された森林資源を守るため、関係機関と連携した保全・育成活動を行います。
- 造林事業及び森林病虫害防除事業による森林の保全・育成に努めます。
- 森林環境譲与税を有効活用した間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の調査・研究を行います。

主な事業・取組

- 森林整備地域活動支援交付金事業
- 造林事業及び森林病虫害防除事業
- 森林環境譲与税関係事業



07 森林の多面的利用

内容

- 宇検村森林整備計画に即して各機能(水源涵養・保健休養の場の提供・生物多様性等)が十分に発揮できるような森林整備に努めます。
- 森林の重要性を都市住民や村民へ広く理解を促進し、森林の多面的な利用に対する様々な立場の方の参画を促します。

主な事業・取組

- 森林の多面的機能発揮対策



● 地域共生のための行動

村民	地場産品を積極的に消費して、地産地消に努めましょう。
地域	農林業と村外の人との交流事業に協力しましょう。
事業者	良質で付加価値の高い農林水産物の生産に取り組みましょう。

関連計画

- 農村振興計画
- 過疎地域持続的発展計画森林整備計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 森林整備計画



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現状

- 漁業従事者の高齢化、後継者不足による漁獲量や市場への出荷量も年々減少しています。
- 原油高騰や漁場環境悪化の影響があり、出漁日数の確保が難しい状況が続いています。
- 離島漁業再生支援事業を活用した種苗放流を実施しています。
- 焼内湾を利用したもずく養殖業が新規に操業されました。

課題

- 湾内の水質汚濁等水産環境の悪化が問題として顕在化してきており、海洋汚染対策等漁場環境の維持・保全に対する対応が求められています。
- 放流事業の効果を高めるため、藻場の造成など海づくりが必要となっています。
- 後継者、新規就業者の育成・確保が喫緊の課題となっています。



● 基本方針

持続可能な水産業の実現に向け、漁業後継者の育成や新規就業者の受け入れ体制の整備を図ります。また、関係機関と連携した栽培型漁業や加工品等の研究開発を推進など、経営安定化に向けた取り組みを行います。

● 主要施策

01 栽培型漁業の推進

内容

- 離島漁業再生支援事業等を活用した稚魚放流や漁場保全活動に取り組み、安定的な漁獲量の維持に努めます。
- 関係部署や関係機関と連携し、漁場環境の向上に努めます。
- 漁業の生産性向上を図るため、増殖場の導入を検討します。

主な事業・取組

- 離島漁業再生支援事業
(藻場造成、稚魚放流、サメ駆除など)
- サンゴ礁保全対策事業

02 漁業経営の安定化

内容

- 県や漁協など関係機関と連携を取り、漁業就業者の確保・育成に努めます。
- 学校給食や施設への魚利用など魚食普及活動を支援します。
- 未利用・低利用資源の加工品開発に向けて、加工試作品の試食会等の実施を検討するなどの総合的な支援を行います。
- 宇検村ブランドとして様々な媒体でPRするとともに、ふるさと納税制度や交流事業等を活用した販路の拡大に努めます。

主な事業・取組

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お魚祭りの支援 | <input type="checkbox"/> 地魚地消の推進 |
| <input type="checkbox"/> 漁業従事者の確保・育成 | <input type="checkbox"/> うけんブランド確立事業 |
| <input type="checkbox"/> 農林水産物輸送コスト支援事業 | <input type="checkbox"/> 宮城県との交流事業 |

03 漁港等の生産基盤の整備

内容

- 防波堤や護岸等の整備など、長寿命化計画に基づく漁港及び海岸関連施設の計画的な維持管理に努めます。
- 地域水産業の活性化及び漁村のにぎわい創出に向け漁港背後地の有効活用を図ります。
- 漁業集落排水施設の計画的な維持管理、機能更新に努めます。

主な事業・取組

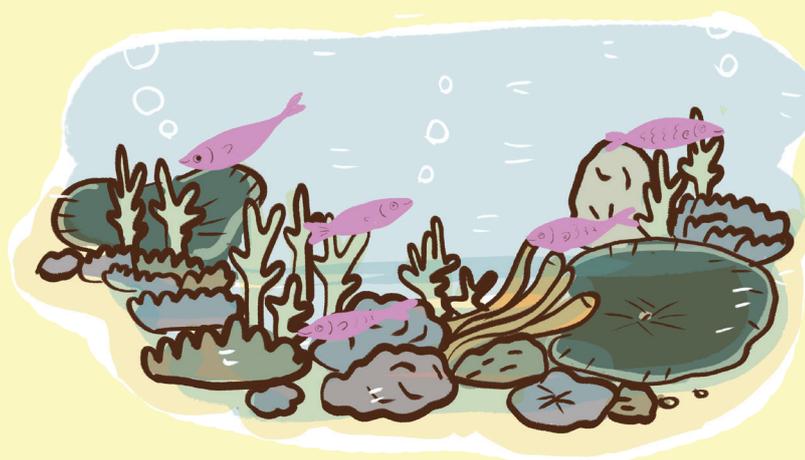
- 漁港機能保全計画の実施
- 漁港施設・海岸施設の施設整備更新事業
- 漁港関連施設の定期点検実施
- 漁業集落排水施設の適正維持・管理

● 地域共生のための行動

村民	漁業に関する制度や仕事に興味を持ち、親族や知人に情報提供をしましょう。
地域	海の保全に努めるとともに、漁港施設を適切に利用しましょう。
事業者	新たな技術の導入や、環境にやさしい栽培漁業を確立させ経営の安定化を図りましょう。

関連計画

- 農村振興計画
- 過疎地域持続的発展計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現状

- 村内の商業は従業員3人以下の零細店となり、卸売業はなく、地元住民を対象とする小売業で占められています。
- 奄美市を拠点とした移動販売車が、生鮮食料品、日用雑貨等を備えて各集落で販売しています。
- 経営者の高齢化、後継者不足による将来の経営に不安を抱えている経営者もいます。
- 近隣市町村の大型店舗等への村内消費の流出が見られます。
- 村内の工業は現在6事業所となり、そのほとんどが小規模な個人企業体となっています。
- 生涯学習の推進及び人材育成に寄与することを目的とし、令和3年5月株式会社shcooと「遠隔教育を活用した奄美大島での地方創生推進包括的パートナーシップ協定」を締結しました。
- 令和2年度奄美大島雇用創造協議会を設立。雇用の創出や人材育成に関する各種講習会やセミナー等を開催している。

課題

- 村内での消費が低迷しており、商店広域に流通を図ることが可能となるような特産品の開発が求められています。
- プレミアム付き商品券事業については、村内の消費に一定の貢献がうかがえますが、今後、さらなる消費喚起につなげるため村民のニーズを把握しつつ効果的な実施が求められています。
- キャッシュレスへの理解や推進が喫緊の課題となっている。
- 税法や食品衛生法の改正など新たな対応が必要となる事業者に対し、内容や補助金などの情報提供が求められています。
- 特産品の開発には、開発費用及び輸送コストが障壁となっています。



基本方針

テレワーク等の新しい働き方への行動変容やライフスタイルの変化を捉え、都市圏からの人の流れを創出し、雇用の創出や交流人口の拡大による地域経済の活性化を図ります。

また、村内事業所や新規起業者への各種制度を活用した支援に取り組むほか、観光拠点的施設の活性化に努めます。

主要施策

01 地域の特性に合わせた商工業の経営支援

内容

- 商工会と連携した各種融資制度の情報提供や経営相談・指導などにより、既存企業の体質の強化を図っていきます。
- 商工会や観光物産協会等と連携した特産品開発を進めるとともに、ふるさと納税制度等を活用した販路拡大の支援を行い既存企業の経営の安定化を支援します。
- 企業の従業者や後継者に対する研修会や交流会の開催し、社会・経済情勢の変化に的確に対応できるような人材育成を通じ、経営の安定化を支援します。
- 関係機関等と連携し、事業継続性の高い買い物弱者対策を進め、村民の生活の利便性の確保に努めます。

主な事業・取組

- 商工会を中心とした特産品開発等の支援
- 商工会による個別経営相談・指導の支援
- 各種融資制度の有効活用の促進
- プレミアム付き商品券事業



02 新たなしごと創出への支援

内容

- 商工会と連携した個別経営指導や各種セミナーの開催等を実施し、後継者の育成や新規開業を支援します。
- 村内の消費者ニーズにあった事業展開ができるよう起業や事業転換などを支援し、村内での消費循環を図ります。
- 村内の地域資源を活用した起業や女性の社会進出を支援し、新たな雇用の創出を図ります。
- 雇用の受け皿として、ワーケーションなど新しい働き方へ対応するため、Wi-Fiの整備などの環境づくりや起業に対し助成を行います。

主な事業・取組

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 経営相談・指導体制の強化 | <input type="checkbox"/> 経営講習会の実施 |
| <input type="checkbox"/> 観光拠点整備事業 | <input type="checkbox"/> 新規観光業起業者支援事業 |
| <input type="checkbox"/> 個人事業者等移住支援事業 | |

03 優良企業の立地促進

内容

- 協定関係にある企業等と連携を図り企業立地の優遇措置を再検討し、村の特性を生かした優良企業の誘致を推進します。
- 企業立地動向に対応した基盤の整備や立地メリット等の情報発信を強化します。
- サテライトオフィスの整備など企業活動を行いやすい環境の整備を進めるとともに、企業間の連携強化や異業種間の交流活動を促進します。

主な事業・取組

- 企業立地等促進条例の制定や奄美群島振興開発特別措置法に基づく村税の特別措置の実施
- 村出身者等を通じた周知広報の実施



04 人材の育成支援

内容

- 求職者が職業に必要な知識や技能を身に付け、円滑に就職し、働き続けることができるよう職業能力の開発や向上を図ります。
- 子どもたちが職業への見識を広げることができるよう教育機関と連携した取組を推進します。
- 既存企業の従業者や後継者に対しての研修会や交流会の開催を支援し、社会・経済情勢の変化に的確に対応できるような人材の育成に努めます。
- 伝統産業である大島紬織物業のあらゆる可能性を検討し、後世に守り育てていける技術やアイデアをもった人材の育成・確保に努めます。

主な事業・取組

- 各種講習会やセミナーの開催
- 遠隔教育を活用した人材育成プログラムの実施
- 宇検村未来の担い手育成事業
- 大島紬織物業の支援

● 地域共生のための行動

村民	地元の商店で買い物をしましょう。
地域	地元企業や行政との連携を図りましょう。
事業者	セミナー等へ積極的に参加するとともに、働きやすい環境づくりに努めましょう。

関連計画

- まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 過疎地域持続的発展計画



● 関連するSDGs



● 現状と課題

現状

- 令和3年7月「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」が世界自然遺産に登録されました。
- 世界では、サステナブルツーリズム(持続可能な観光)が大きな注目を集め、サステナブルツーリズムの国際基準「GSTC」が世界の多くの観光地で活用されています。日本では、観光庁が日本版のガイドラインを策定し、地域の観光産業にサステナブルツーリズムの概念を取り入れる支援を行っています。
- 新型コロナウイルス禍で近場を旅行する「マイクロツーリズム」や「体験・滞在型観光」のニーズが高まっています。

課題

- 世界遺産登録により観光客の急増が見込まれ、島の生態系に悪影響が出る恐れもあることから、行政だけではなく地域住民及び学校教育の場等の理解を深めることが必要となります。
- 訪れる人を受け入れるための宿泊施設等の誘致を進めるとともに、近隣自治体との連携による広域的な観光の推進が求められます。
- ガイドの担い手が減少していることから、後継者の育成・確保が喫緊の課題となっています。
- 観光客の基本的なマナーが守れないことへの集落や住民の不満の声が上がり始めています。



● 基本方針

本村の豊かな自然や食、歴史文化資源等について、より魅力を引き出すことができる活用方法やより効果的なPR方法を検討するとともに、体験・滞在型観光の充実を図ります。

また、近隣自治体と連携したPRや観光ルートの開発に取り組むとともに、世界自然遺産登録を交流が目的化することのないよう、守るべきもの、将来の地域のあるべき姿について話し合い、交流の意義を共有します。

● 主要施策

01 観光資源の整備・活用

内容

- 世界自然遺産登録に伴い貴重な自然環境の保全を前提に、持続可能な利用の推進を図るため、環境省や関係機関と連携したロードキル対策や希少種の違法採取防止の意識啓発に努めます。
- 各集落で行われている伝統行事を観光イベント化し、観光客の集客を図ります。
- 峰田山公園、湯湾岳展望台公園、屋鈍から西古見集落区間を整備し、観光施設への導線を確立し、観光客の受け入れ態勢を強化します。
- 集落への影響に配慮しながら住民参画により策定した観光振興基本計画に基づき、保全と利用のバランスのとれた観光振興を推進します。

主な事業・取組

- 世界自然遺産関連事業
- 村内伝統行事観光イベント化事業
- 観光施設等整備事業

02 新たな観光資源の創出

内容

- 地域が主体となった観光資源発掘、磨き上げなど村民と一体となった地域資源の活用・整備を促進します。
- 14集落の地域資源をつなぐ、各種ツーリズム等の体験型観光を推進します。
- 商工会や地元企業と連携した独自性の高い観光プランの提供など、着地型観光を推進します。

主な事業・取組

- シマ時間体験センターの体験ツアーの推進
- ケンムン発祥の地伝説イベントの開催
- 地域おこし協力隊による観光資源の掘り起こし



03 PR・誘客活動の推進

内容

- 自然・歴史・文化等をテーマにした観光ルートや観光資源について、インターネット、SNS、メディア等を活用し、村の魅力を効果的にPRします。
- 観光客のSNSへの発信を促すため、村内の主要観光スポットおよび各集落拠点施設等に無料Wi-Fiの設置を推進します。
- 島内外の合宿を呼び込むため、民間企業と連携により受入体制の整備を図るとともに、継続した誘致活動を促進します。
- 時代に沿った各種交流事業を継続し、交流人口の拡大を図ります。

主な事業・取組

- | | |
|--------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> プロモーション推進事業 | <input type="checkbox"/> 無料Wi-Fiの設置事業 |
| <input type="checkbox"/> 合宿増加推進事業 | <input type="checkbox"/> 宮城県七ヶ宿町との交流事業 |
| <input type="checkbox"/> 合宿誘致助成事業 | |

04 おもてなし受入体制の充実

内容

- 「うけん地域学」や生きがいつくり事業等と連携し、保護と振興の双方の価値を理解し認識できるバランスのとれた案内ガイドの育成・確保に努めます。
- 観光・物産における総合的な案内及び情報発信や観光客を迎える施設にふさわしい「おもてなしの玄関口」として「ケンムンの館」の充実を図ります。
- 観光振興の中心となる観光物産協会の機能拡充を図ります。
- 各集落の里歩きマップ作成や案内看板の設置など、観光客の集落巡りを促進するとともに、集落への関心を深める取り組みを推進します。
- 訪日外国人の増加を見据え、外国語観光パンフレットの制作など外国人観光客の受け入れ体制の整備を進めます。
- おもてなしの心による住民が一体となった集落美化活動を推進します。

主な事業・取組

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 宇検村の観光ガイド育成事業 | <input type="checkbox"/> 無料Wi-Fiの設置事業 |
| <input type="checkbox"/> 宇検村観光拠点施設事業 | <input type="checkbox"/> 里歩きマップ・パンフレット・
看板設置・整備事業 |
| <input type="checkbox"/> 自然体験学習の実施 | |



05 広域観光の推進

内容

- 世界自然遺産登録をきっかけとした観光の在り方を近隣市町村と共有し、連携した一体的な取り組みを推進します。
- 奄美全体として、資源を積極的・戦略的に活用した取組を推進します。
- 絶滅危惧種であるリュウキュウアユの保護に努めるとともに、外来種の駆除や小中学生対象の観察会などを通じ住民の意識啓発を図ります。

主な事業・取組

- 奄美群島観光施設連携整備事業
- 奄美大島満喫ツアー助成事業
- あまみシマ博覧会プログラム登録推進事業
- 島ちゅチャレンジ応援事業
- リュウキュウアユを活用した観光地域づくり団体育成事業
- 奄美群島広域事務組合

● 地域共生のための行動

村民	宇検村の魅力を知人にPRし、来訪してもらいましょう。
地域	おもてなしの心づくりとロコミによる宣伝活動で観光業に協力しましょう。
事業者	地域、行政など地域が一体となった誘客に取り組みましょう。

関連計画

- 観光戦略
- 過疎地域持続的発展計画
- まち・ひと・しごと創生総合戦略

